

経営比較分析表（平成30年度決算）

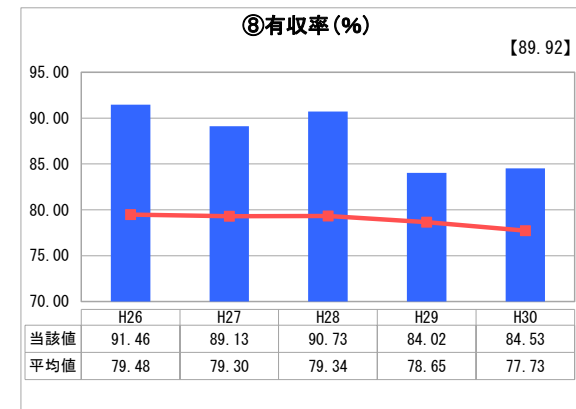
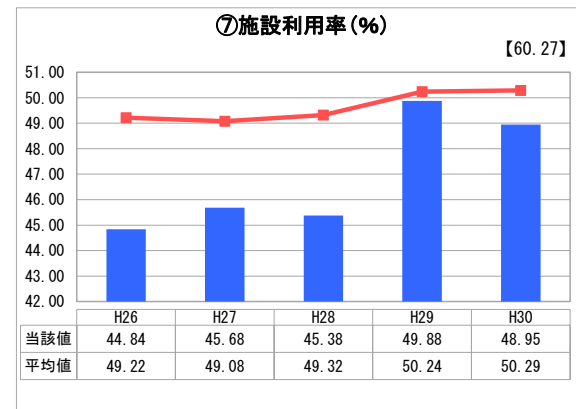
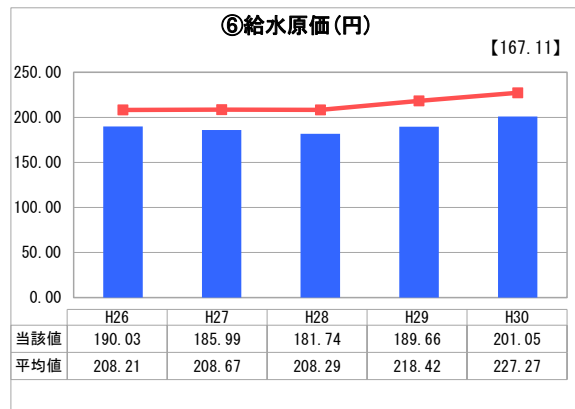
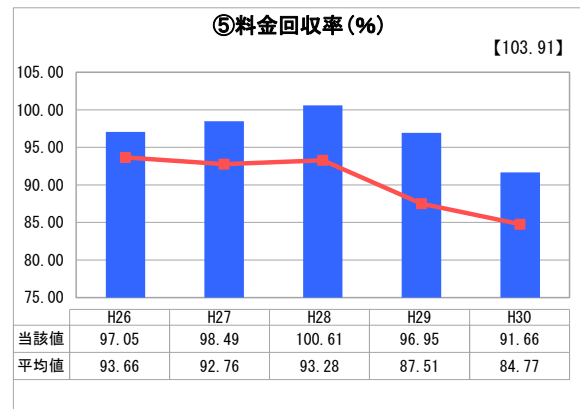
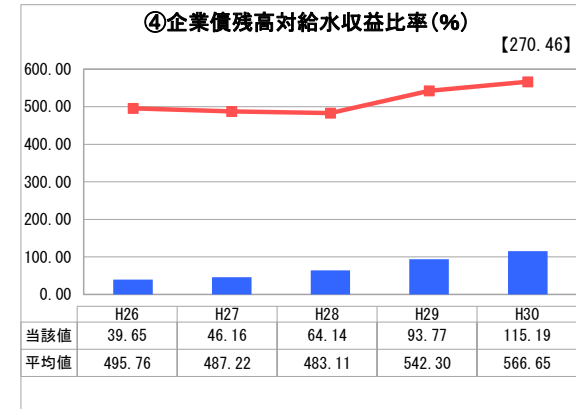
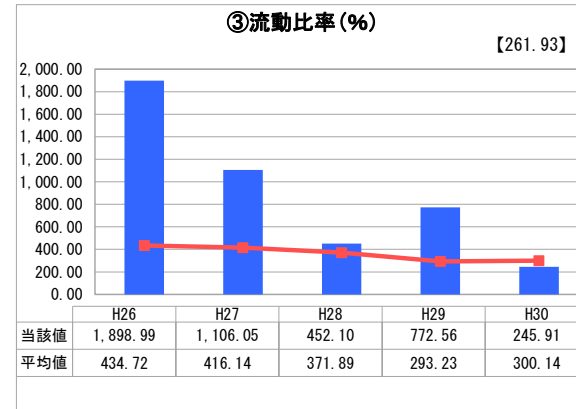
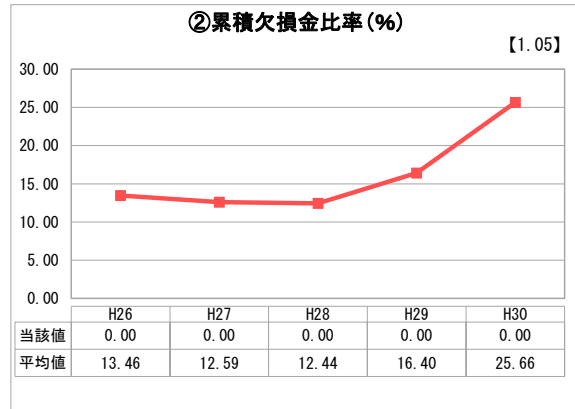
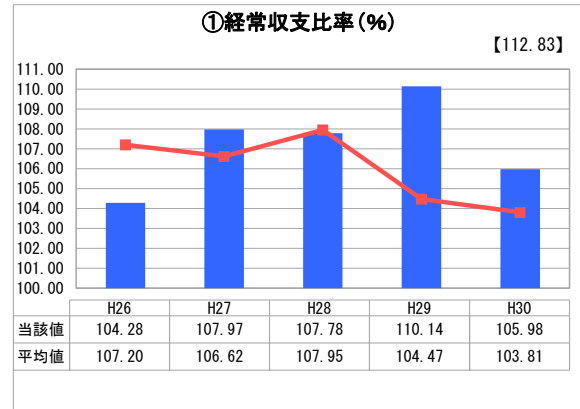
岐阜県 富加町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	78.84	99.30	3,661	

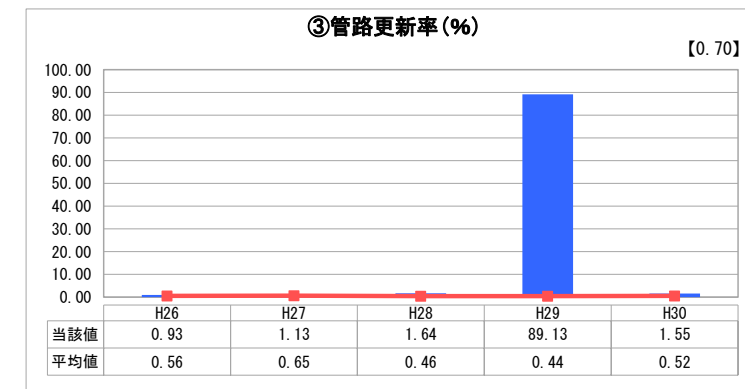
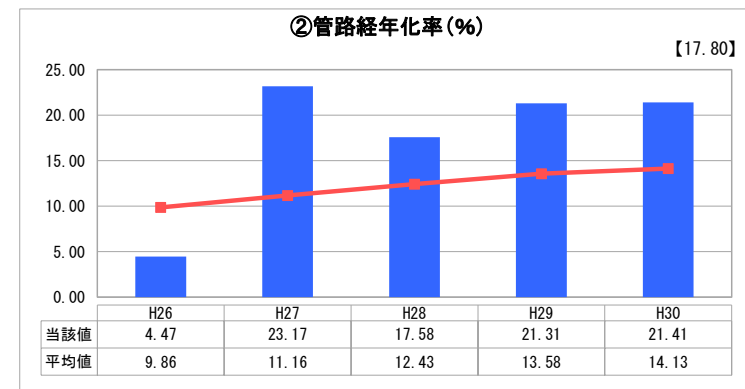
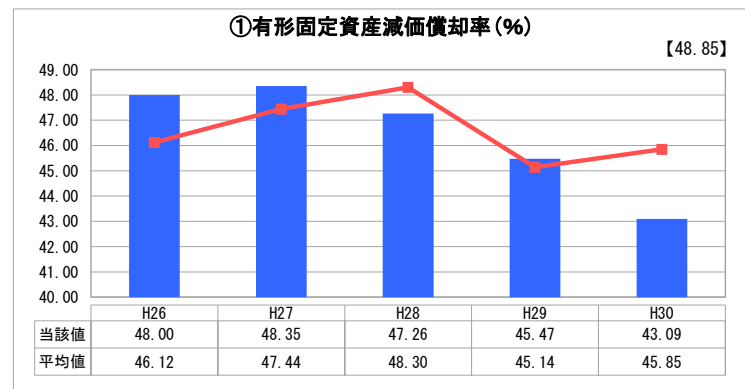
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,714	16.82	339.71
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
5,700	10.25	556.10

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
【	平成30年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

企業債残高対給水収益比率が他類似団体より低く、企業債への依存が少なく良好な状態に見えるが、今後、管路の更新で企業債借入が増加する予定のため、注視していく必要がある。
 料金回収率が類似団体より高く、現在では良好だと言えるが、今後、人口減少による給水収益の減少等から、今の状態を維持できない可能性が高い。料金の適切性については、今後も検討していく必要がある。
 施設利用率が低く、施設が過大であるように見えるが、1日最大給水量から見ると過大とは言い切れない。今後の使用状況を見守りながら、様々な観点から施設の効率性を考えていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

水道事業認可直後である昭和50～51年に布設した配水管を現在も使用しており、それらが40年を経過することから、管路経年化率は急激に高くなっていく。
 管路更新率は類似団体と比べて高くなっているため、引き続き、現在の町水道事業ビジョンにより管路更新の優先順位の位置づけをしたうえで、計画的な管路更新に努める。

全体総括

全体的に類似団体より良好な状態とは言えるが、人口減少による給水収益の減少、老朽化資産の増加により、経営の健全性、施設の安全性を保持することが年々難しくなっていくことが予測される。類似団体の数字だけにとらわれず、町の中長期計画を基に、健全性、安全性を保てる経営を行っていく。